

音 楽 2 年

教科の目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。
-------	--

評価規準

評 価 の 観 点	評 価 規 準	方 法
知識及び技能	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	☐ 学習時の観察 ☐ 実技発表 ☐ 発表・プリント等の提出物 ☐ 期末テスト
思考力、判断力、表現力等	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	☐ 学習時の観察 ☐ 実技発表 ☐ 発表・プリント等の提出物 ☐ 期末テスト
学びに向かう力、人間性等	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。	☐ 学習時の観察 ☐ 発言・プリント等の提出物

使用教科書・使用教材

☐ 教芸 中学生の音楽 2—3 上・下 ☐ 教芸 中学生の器楽	☐ 箏、和太鼓、リコーダー、鑑賞資料、鑑賞用CD、DVD、BD、合唱パート別CD
--	---

「教育に関する3つの達成目標」との関連

規律ある態度で授業を受け、音楽に関する表現や発表、鑑賞する態度をしっかりとさえる。「みんなができる、みんなのできる」の実感を持たせる。

【第2学年】標準授業時数 35時間

	学 習 内 容	学 習 の ポ イ ン ト【評価方法】
一 学 期	○発声練習 ○歌唱「夏の日の贈りもの」 ○歌唱 「夏の思い出」 ○鑑賞「フーガ ト短調」 ○器楽 リコーダー ○合唱コンクール曲	・姿勢、口形、のど等の基本をふまえ、充実した響きのある歌声で表現する。 【活動観察、演奏聴取】 ・基本的な発声や言葉の発音などを理解し工夫して歌う。 【活動観察、演奏聴取】 ・旋律の音の動きを理解し、表現を工夫して歌う。 【活動観察、演奏聴取、発言内容、プリント】 旋律が味わっていく面白さを味わう 【活動観察、発言内容、プリント】 ・曲想を感じ取り、曲想にふさわしい音色やフレーズの表現を目指して表現を工夫する。 ・リコーダーの運指、タンギングや息の使い方の技能を身につける ・低い音の奏法に合わせた演奏の仕方を身に付ける。 【活動観察、演奏聴取】 ・歌い合わせる喜びを感じ、意欲的に合唱表現する。 ・曲にふさわしい表現を工夫し、合唱曲を美しく歌い上げる喜びを知る。 ・歌い合わせる喜び、発表しあう楽しさ、充実感を味わい、かつ、互いの努力を認め合う。 【活動観察、演奏聴取、発言内容、プリント】
二 学 期	○鑑賞「交響曲第5番ハ短調」 ○器楽 箏	・日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わう。 【活動観察、発言内容、プリント】 ・アルトリコーダーの運指を確認し、重奏の楽しさとハーモニーの美しさを味わい、表現する。 【活動観察、演奏聴取】
三 学 期	○鑑賞 「アイーダ」 ○卒業式の歌	オペラに親しみ、その音楽を味わいながら聴く。 【活動観察、発言内容、プリント】 ・合唱コンクールと同様に練習し、卒業生の門出を祝い、心をこめて高らかに歌う。 【活動観察、演奏聴取】